

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野
科目コード:280007

助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期)

Midwifery diagnosis / technology special exercise Ⅱ (Delivery period)

担当教員	曾山 小織、亀田 幸枝、河合 美佳、川久保 佳代、石田 美幸				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	4	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	90		
Keywords	分娩期、助産診断、助産過程、フィジカルイグザミネーション、分娩介助、急速遂娩、産科救急、帝王切開				
学習目的・目標	1 助産師が行う分娩期のケアの基本となる考え方を説明できる。 2 分娩期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、正常経過を促すケアを立案できる。 3 分娩介助にかかわる基本的な助産技術、ケア技術、態度を修得できる。 4 正常からの逸脱状態を予測・判断し、対応について説明できる。 5 安全、安楽、満足な出産についての考えを述べることができる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	ガイダンス、学習課題提示				曾山
2	さまざまな分娩を知ろう			DVD視聴・討議	曾山
3	分娩に関連する解剖学知識(課題確認)			講義・演習	曾山
4	分娩期の助産診断に必要な知識、診断・アセスメント視点			講義	曾山
5	助産師がおこなう分娩期のケア			DVD視聴・討議	曾山
6-17	分娩期の助産過程の展開 (PBL)			演習	曾山・河合
18-21	分娩期のフィジカルイグザミネーション 産婦の全身状態、胎児と分娩進行のアセスメント、分泌物・破水、分娩進行度、胎児の健康度、バースプラン等			講義・演習	曾山・河合
22-31	分娩介助技術 分娩介助の意義と原理、分娩介助に伴う技術、人工破膜、胎児付属物の精査と計測、間接介助、ベビーキャッチ、出生直後の新生児のアセスメントとケア等含む 記録、出生届、バースレビュー等			講義・演習	曾山・河合
32-33	フリースタイル分娩の介助と産痛緩和のケア			講義・演習	川久保・石田
34-39	分娩期のシミュレーション学習			演習・討議	曾山・亀田・河合
40-41	分娩介助技術【自主学習】			演習	曾山・河合
42-45	分娩介助技術確認			演習	曾山・河合・亀田
	定期試験				曾山・河合
教科書	助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア:日本看護協会出版会 新版 助産師業務要覧 第4版[Ⅱ実践編]:日本看護協会出版会 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 2版:医学書院 正常分娩の助産術:医学書院 新改訂2版 写真でわかる助産技術:インターメディカ 今日の助産 改定第4版:南江堂 産科診療ガイドラインー産科編2023ー:日本産婦人科学会 病気がみえる vol.10 産科 第4版:MEDIC MEDICA				
参考図書等	助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア:日本看護協会出版会 実践マタニティ診断:最新版 最新産科学 正常編:文光堂:最新版 最新産科学 異常編:文光堂:最新版 WHO推奨ポジティブな出産体験のための分娩期ケア:医学書院				
評価指標	定期試験60%、演習・討議40%				
関連科目	助産診断・技術特論演習Ⅰ(概論・妊娠期)、助産診断・技術特論演習Ⅲ(産褥期・新生児期・乳幼児期)、助産診断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)、助産管理特論、助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)、助産実践実習Ⅰ-2(正常)、助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)				
教員から学生へのメッセージ	PBLまでに分娩期の基礎的知識を学習しておきましょう。妊娠期からの連続性を考え、安全で満足な出産につながるよう知識、技術、態度を身につけていきましょう。				